



## 祝 辞



## 開校110周年を祝して

函館市長

工 藤 壽 樹

このたび、輝かしい歴史と伝統を築いてこられました北海道函館商業高等学校定時制課程が創立110周年の記念すべき節目を迎えられ、これまでの学校の足跡を記念誌にまとめ、永く後世に残されますことに心からお祝いを申し上げます。

顧みますと、本校は、明治36年、私立函館商業補習学校として、夜間補習教育を行う学舎として誕生しました。以来、昭和25年には、北海道函館商業高等学校定時制課程として現在の基盤となる体制を整え、勤労青少年の育成に大きな役割を果たしてこられました。この間、幾多の卒業生が函館市内はもとより広く道内外で活躍されておりますことは誠に喜ばしい限りであり、これもひとえに、歴代の校長先生や教職員並びに関係各位の教育にかける情熱と地域、同窓生の皆様のご尽力の賜と敬意を表する次第であります。

さて、110年という歳月の中で営まれてきた本校の教育を振り返りますと、その時々々の教育課題を的確にとらえ、「士魂商才（しこんしょうさい）」の建学精神の下に、職業人としての資質の育成を図るとともに、全国、全道大会に出場した卓球部や、野球部、バドミントン部の活躍など、文武両道の教育活動を推進し、多くの成果をあげられ、その教育実践は全道、全国的にも高く評価されているところであります。

現在、本市においては、「子どもたちと若者の未来を拓く」を重点目標の一つとして掲げ、伝統を守り、未来につなぐ様々な施策を進めております。本校におかれましても、この度の110周年を契機として、これまでの輝かしい伝統に支えられた教育活動をより充実されますことをご期待申し上げます。

結びに、本記念事業にご尽力されました皆様をはじめ、関係各位のご健勝と、本校のますますの飛躍を祈念申し上げ、記念誌発行に当たっての言葉といたします。